

さあ、チャレンジしてみよう

Let's try English!

Message FROM
Ben Gibson
Vol. 100



Nakasendo Part V

I woke up in the morning, and remembered where I was. I was in a hostel up in the mountains above Kiso - Fukushima. When I finally found the hostel last night, it was dark. In the morning light I could see the area, and it was a beautiful little village up in the mountains. I had a small breakfast, and then had a chilly ride on the tricycle down back into Kiso. I took my time today, and dawdled around Kiso - Fukushima. I looked at the various shops, museums, and bought some souvenir sake at Nanawarai for my friends. I also spent a long time at a beautiful temple with a large garden, and left when the skies started to sprinkle raindrops.

The place of putting up the tent

I took my time getting out of Kiso - Fukushima, and I only made it to Agematsu before the rain started. I was worried about the tent. I had borrowed it from a friend, and I was not sure if it could withstand the rain. I did not have enough money for another hostel, so I looked for some kind of shelter that I could sleep under.

And finally, I found one, right beside the Nakasendo. It was almost perfect, a big wide roof supported by 4 pillars, and a nice dry, sandy floor.

I didn't fear the ghosts

There was only one problem. It was in the middle of a graveyard! I was a little nervous about sleeping there. I'm wasn't worried about the ghosts as much as I was about what the local people would think. I didn't want to disrespect anybody's family by sleeping there. I saw an old lady walking down the street and stopped her. I explained my situation and asked if it would be OK to sleep there. She said "Why not?" (いいんじゃない?) and I went back to set up the tent. It was only 6 or 7 o'clock by the time I had everything ready. I decided to go out and hunt for food.

I am a vegetarian, so...

It was not easy finding vegetarian food on a dark and rainy evening in the middle of the Kiso valley! I saw a curry restaurant open. Almost all Indian curry restaurants have vegetarian dishes, but this place was Japanese-style, and the curry sauce is made with animal fat. So I found a grocery store that was still open, and had a small dinner of fruit and onigiri.

I slept well that night, without any harassment from ghosts nor animals.

中山道 パート5

朝、目覚めて自分がどこにいるのか思い出しました。私は、木曾福島の上にあるユースホステルにいたのです。前の晩、ユースホステルをやっと見つけた頃、辺りは暗くなっていました。朝日が昇ってから、そこが山間の小さな美しい村だとわかったのです。ささやかな朝食をすませ、寒い三輪車に乗ってまた木曾へ向かいました。その日はゆっくりすることにしたので、木曾福島あたりでだらだらと時間を過ごしました。たくさんのお店や博物館を見て、七笑いで友人へのおみやげの酒を買いました。広い庭園のある美しい寺でもゆっくり過ごし、雨がぼつぼつと降り始めた頃に出発しました。

テント設営の場所

木曾福島を出るまでゆっくりしていたので、本格的に降る前にやっと上松に着いたのです。私は、テントの事が気になりました。友人から借りたテントですが、雨に耐えられるかわからなかったのです。ユースホステルの宿泊代が足りないので、シェルターのように屋根の下でテントを設営して眠れる場所を探しました。果たして、その場所は中山道のちょうど脇にありました。殆ど完全な状態で、4本の柱に支えられた広い屋根、よく乾いていて砂だらけの床がありました。

幽霊は怖くない

でも、ひとつだけ問題があったのです。そこは、なんと墓地の真ん中でした！そこで眠るのに、私には少しひっかかることができました。地元の人々がそこで眠っている自分を見てどう思うのだろうかとか気にかかるほどには、私にとって幽霊は気になりませんでした。その場所で眠るのは、お墓に眠っている誰かの家族に無礼になるかも知れないということが嫌だったので。私は向こうからやってくるおばあさんを見つけて声をかけました。状況を説明し、そこで眠っていいかどうか聞いてみました。彼女が「いいんじゃない?」と言ったので、テントをセットするために戻りました。すべて整ったのは、6時か7時でした。それから食料探しに出かけることにしました。

菜食主義だから...

木曾谷の真ん中で、暗い雨の晩に菜食用の食物を見つけるのは容易ではありません！私は、一軒のカレー屋が開いているのを見つけました。インドのカレーレストランの殆どは菜食者用の料理がありますが、そこは日本式の食堂ですから、カレー・ソースも動物性の油脂で作られていました。そんな所で、まだ営業している雑貨屋を見つけ、果物とおにぎりのささやかな夕食をとったのです。

その晩は幽霊や動物に悩まされることもなく、ぐっすり眠りました。

俳句 当季雑詠

絵及六越すに越されぬ大井川 大高 霧海

粥祝ふ七日に吹雪横なぐり 石川 政司

遠きこと二年詣での逢瀬かな 石川 弘美

毛糸編む娘は話さざる胸の内 内山 寿子

うつむくも胸張るも皆初詣 森泉 清

誰と行くあてのなければ春旅の明るき広告時かけて見る 大池 講子


風の日ば風のさみしき音ばかり信濃はさむし父の忌の来る 吉田 倉子

せせらぎの汀に生れし草つららガラス細工の花のごとしも 桑原アヤ子

短歌


「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌・俳句で綴る御代田の四季



Do! Sports 青少年の体と心を育てる場 御代田町スポーツ少年団

御代田町スポーツ少年団は、野球2団体・空手・バレーボール・サッカー・ミニバスケットボール・カーリングの6種目、7単位団で活動しています。来年度からは硬式テニスを加えた7種目、8単位団での活動を予定しています。また、広報やまゆり2月号でもお知らせしたとおり、昨年団の活動が認められ、栄えある全国表彰もいただきました。スポーツ少年団の目的は、スポーツを行ない身体能力を高めると共に、子どもたちに地域社会の中で集団活動を行なう場を与え、協調性や創造性を養い、将来に向け、強く生きて行く力を身につけてもらうことにあります。いわば、「スポーツを通して青少年の体と心を育てる場」です。そんなスポーツ少年団に入団してみたい子どもたちを募集します。団員募集案内は、3月中旬頃に南北小学校に配布させていただきます。



Man Watching #81

発行日待ち遠しいと思ってもらえるように...

長野県広報コンクール「町村広報紙の部」で広報やまゆり7月号が優秀賞を受賞しました。

Q1 趣味は？
ポ〜ットすること

Q2 おすすめスポットは？
弟の店「どっこい」私は時々説教されています。

Q3 理想の人は？
フーテンの寅さん

Q4 夢・目標は？
家族が仲良く健康で暮らしていること。

Q5 まちづくりに一言
だれかの意見(考え)を鵜呑みにするのではなく、自分で考え、人の意見も聞く。自分の発言や行動に責任を持つ人たちが暮らしている町であって欲しいと思います。特に行政は、説明責任が大切です。御代田の広報はまだ不十分だと感じます。

